

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード

■ 期末接近！ 今から新年度相場の備えを！



先週には日経平均株価は万台の1万円乗せ。東日本大震災の発生からほぼ1年と時期的、株価水準的にも節目のタイミングを同時に迎えたが、投資家としては過去を振り返りつつも先行きを見据えて投資行動を起こさなければならぬ。

物色は株価指数浮上とともに中核銘柄が軸となるも、期末接近で配当妙味株、そして株価対策の意識が強まる低位、バイオなどが物色を集めている。先週には、グリー（3632）、ニコン（7731）ら新刊発売の四季報銘柄、ダイセキ（9793）ら産業廃棄物処理関連、ピーエスシー（3649）の医療システム関連など、テーマ株が人気化する場面も見られた。

ただ、これらテーマ株人気が一服すると、これから始まる新年度を見据えて、新たな物色対象を模索する局面か。会社四季報発売で企業実態に注目が集まるなか、やはり来期の業績変化が注目されてこよう。とくに今期は東日本大震災、タイ水害など天災の影響に加え、歴史的な円高と厳しい収益環境に置かれたが、来期業績は反動増が期待されるためだ。

そこで弊社では「来期の業績変化」に着目した「厳選5銘柄付き市況分析レポート」を発売する。企業分析が主体となるため、弊社情報分析部のリサーチ力が試されるだろう。このレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。